

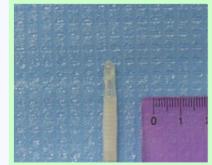
大腸CT検査

大腸CT (CTC) とは？

お尻から細いチューブをいれて炭酸ガスを注入して大腸を膨らませ、マルチスライスCTを用いて撮影する検査です。

大腸の三次元画像を簡単に得る事ができます。

検査時間は15分ほどになります。



チューブ先端

長所

- ・ 検査時間が短い。
- ・ 大腸内視鏡検査と比べ苦痛が少ない。
- ・ 腹部全体を撮影するため大腸の外側の情報も把握できる。
- ・ 大腸の形や他臓器との位置関係が把握できる。

短所

- ・ 組織を採取できない。
- ・ 病変の色や硬さの情報が得られないため、平坦な病変は検出しにくい。
- ・ 従来よりも少ないものの医療被ばくがあり、妊娠の可能性のある方は受けることができない。

・ 撮影装置

最新型80列マルチスライスCTです。被ばく低減技術に加え、息を止める時間も短縮されています。

・ 自動炭酸ガス送気装置

人体に影響のない医療用炭酸ガス（二酸化炭素）を使用します。炭酸ガスは体内に吸収されるため、お腹の張りは検査後、速やかに消失します。



検査室

検査の流れ

- ① 検査着に着替えます。

金属類は全て外し、下着を脱ぎます。
検査用パンツは穴が開いている方が後ろです。
検査着の中に肌着着て頂いても大丈夫です。

大腸の動きを抑え、
明瞭に描出します。

- ② 鎮痙剤を注射します。

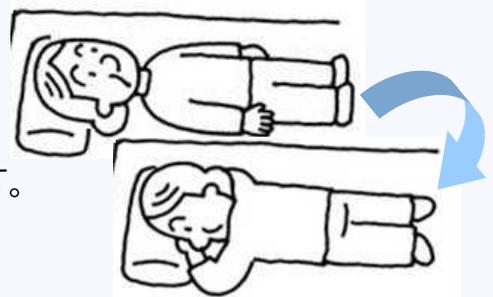


- ③ 横向きになり、チューブを肛門から数cm挿入します。

- ④ 炭酸ガスを注入し、大腸全体を膨らませます。

- ⑤ CT撮影をします。

仰向けとうつ伏せの二回撮影をします。
息を止める時間は5～10秒程度になります。



- ⑥ チューブを抜いて検査終了です。

検査後は普段どおりに食事して頂いて構いません。

- ⑦ 検査結果は後日、次回の診察時になります。